

交換留学報告書

氏名	大森美有子
学部/研究科・学年（留学時）	法文学部人文社会学科 3 年
留学国名	大韓民国
留学期間	10 ヶ月
実施年月	2025 年 2 月 26 日～2025 年 12 月 21 日

1. はじめに

私は、大韓民国大田広域市にある忠南大学校に、10 ヶ月間交換留学生として留学しました。この留学で、私は人生で初めて海外に行きました。何もかもが初めての経験で、戸惑いや不安がたくさんありました。しかし、留学前から帰国まで、多くの方々がサポートしてくださいましたおかげで、無事交換留学を終えることができました。また、愛媛大学より海外派遣（長期）奨学金をいただいたおかげで、充実した留学生活を送ることができました。心よりお礼申し上げます。

2. 留学をしようと思った理由

私は、中学生の頃から K-POP に興味を持ち、独学で韓国語を勉強し始めました。高校生の頃には、大学在学中に韓国へ留学に行くという目標を立てていました。愛媛大学に入学し、朝鮮言語文化を専攻するに伴い、韓国語の語彙力や読解力が必要不可欠となりました。そこで、現地に行けば、必然的に日本語を使用する機会が減ると考えられるため、より集中的に韓国語の能力を伸ばすことができるのではないかと考え、さらに留学を意識するようになりました。高校生の頃自分が立てた目標を達成するため、また集中して韓国語を習得できる環境に自らを置き、現地語を習得する・異文化理解を深める・コミュニケーション能力を向上させるため、長期交換留学プログラムへの参加を決めました。

3. その大学を選んだ理由

私は 1 年生の後学期から愛媛日韓大学生交流会 ドングラミの活動に参加し、実際に韓国人留学生の方々と韓国語で会話する機会がありました。当時のドングラミには忠南大学校から愛媛大学に交換留学されている方が多く、忠南大学校での生活について話を聞いていくうちに、忠南大学校に留学してみたいと思うようになりました。また、忠南大学校に留学されていた先輩から、忠南大学校でのリアルな留学生活について詳しくお話を伺える機会があったことも、より忠南大学校に留学したいと思うようになったきっかけです。忠南大学校は国公立大学であるため、寮費などが抑えられるのも、忠南大学校を選んだ理由の 1 つです。

4. 留学先で学んだこと（授業の様子）

1学期は、大学付属の語学堂で韓国語の授業を受けながら、大学の授業も受講していました。語学堂の授業は、平日毎日4時間授業があり、討論や発表など、生徒自身が韓国語を話す機会を多く設けていただいていました。韓国語の基礎を学ぶことができたのはもちろん、様々な国籍のクラスメイトと会話し、異文化理解が深まったことは、自分にとって非常に大きな学びになったと感じています。大学の授業について、受講していた授業は、全て留学生向けではありましたが、授業は全て韓国語で行われ、授業資料や課題・テストももちろん韓国語だったので、留学当初は全くついていけませんでした。徐々に講義が聞き取れるようになり、書いてある内容が理解できるようになりました。

2学期は、語学堂には通わず、大学の授業のみ受講することにしました。1学期同様、留学生向けの授業のみ受講していました。語学堂に通わない分、1学期よりも多くの授業を受講していたので、毎日予習・復習・課題に追われていて、かなり忙しかったように思います。しかし、2学期に入り、多くの授業を受講したおかげか、韓国語の能力がぐっと伸びたように感じました。また、授業を通して他国から来た留学生と交流したり、各国のお菓子を持ち寄って、試食・紹介し合ったりと非常に充実した毎日を過ごすことができました。



語学堂での発表の様子



校内の桜



授業でよく通った教棟

5. 現地での生活（住まいや食事）

私は大学の寮に住んでいました。寮は2人部屋で、ルームメイトが日本人かつ留学前から知っている仲だったこともあり、コミュニケーションを取りながら、特に大きな問題なく生活できました。私は、平日2食付きのプランを選択して住んでいたので、平日2食は寮の食堂で食べ、1食は学内のコンビニや学食を利用していました。週末は外食することがほとんどでしたが、部屋に配達してもらったものをルームメイトと一緒に食べることもありました。また、大学の中にカフェやコンビニ、銀行、郵便局などがあり、よく利用していました。各施設、寮から距離はあるものの、忠南大学校の広大な敷地の外まで行く必要はないため、比較的利便性は高かったように思います。



芝生の上で食事



ポックンパ



配達したピザとチキン

6. 留学先で楽しかったこと、辛かったこと

楽しかったことは、自分の韓国語能力が向上しているのを感じられたことです。留学当初はとにかく自分の韓国語に自信がなく、正直「アンニヨンハセヨ」と「カムサハムニダ」以外、全く話せずにいました。しかし、周りの留学生たちが物怖じせずどんどん韓国語を話している姿に刺激を受け、自分も積極的に韓国語でコミュニケーションを取ろうと試みるようになりました。時には間違えたり、うまく伝わらずもどかしい思いをしたりすることもありましたが、韓国語でコミュニケーションできていることにどんどん喜びと楽しさを感じるようになりました。また、留学中様々な場所に旅行に行ったのも良い思い出になりました。忠南大学校がある大田広域市は、韓国のちょうど真ん中あたりにあるため、様々な場所に旅行に行きやすいところでした。また、韓国は日本と比べて交通費がかなり安いため、より一層旅行に行きやすかったです。

辛かったことは、テスト期間です。1学期・2学期ともに、受講していた授業は、全て留学生向けではありましたが、授業は全て韓国語で行われ、授業資料や課題・テストも全て韓国語でした。普段韓国語で授業を受けるので精いっぱいだった私にとって、母国語ではない授業のテスト勉強はあまりに辛く、涙する日もありました。しかし、せっかくの留学の機会を無駄にしたくない一心で、毎日こつこつ勉強し、なんとかテスト期間を乗り切ることができました。



慶州東宮と月池



光化門



ピョルマダン図書館

7. 終わりに

私は、この留学が初めての海外経験で、自分の見る世界がより広がったと感じています。韓国に留学している間、韓国のことはもちろんですが、それ以上に日本の政治や歴史、文化、日本語など、今まで自分が当たり前と思って生きてきたものに、改めて目を向ける機会・考え方直す機会が多くありました。留学は楽しいことばかりではありませんでしたが、辛いことばかりでもありませんでした。留学を通して経験したもの・見たもの・感じたこと…すべてが自分の成長につながったと感じています。

長期交換留学という貴重な機会をいただき、留学をサポートしていただいた愛媛大学及び忠南大学校の教員・職員の方々、友人、家族、皆様に改めてお礼申し上げます。